

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	大分県
取組市町村名	杵築市
取組の名称	親子の食育教室
取組内容	1. 日時:平成28年6月21日(火) 13:00ー15:30 2. 会場:杵築市 健康推進館 3. 対象:3, 4歳の子どもとその親 4. 主催:杵築市 健康長寿あんしん課 5. 参加者:幼児10人、親10人 6. 実施状況 ※年間4回(6月、9月、11月、2月)の19日前後で開催している教室の一貫 ※開催案内は市広報紙、市内歯科医院及び子育て支援拠点でのチラシ配布、幼児健診時等で個別の呼びかけを行い広く参加者を募りました。 <ねらい> 参加の幼児が食材に触れ、食べ物に興味を持ち、豊かなこころの形成を目指すと共に、保護者はおやつの適量を学び、子どもにおやつを捕食として適切に与えることができるようになることを目指します。 保護者が子どもとの調理体験を通して、家族の食事や食習慣を振り返り、食環境を整えるきっかけとします。 ○あいさつ ○杵築市の現状と今日の流れ ○調理実習 献立:「米粉のいしがきもち」「米粉せんべい」 ○試食 ○歯科衛生士による講話「むし歯の予防法について」 <参加者の反応> ・夏は棒アイスに夢中になりがちなので、気をつけたいと思いました。 ・むし歯にさせない工夫があることを知れてよかった。 ・一緒におやつが作れて楽しかったです。目で見て中に何が入っているかわかるので、安心してたべることができ、美味しかったです。 ・家でこどもと料理をする時間が無い中、貴重な時間になりました。  

「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	大分県
取組市町村名	姫島村
取組の名称	お魚料理教室「地産の魚介類を使った調理実習」
取組内容	目的: 魚は栄養的に大変優れた食品ですが、最近は魚離れが進んでおり、子どもたちが魚料理を口にする機会が減っているのが現状です。そこで、魚のおいしさや必要性を知り、魚に親しんでもらうために地産の魚介類を使った料理教室を実施します。 内容: 姫島村の近海でとれる魚介類を使った調理実習 担当課: 水産観光商工課 対象者: 小学4年生 小学5年生 小学6年生 概要 事業① 対象者: 小学6年生14名 講師: NPO法人 かなんど工房 日時: 6月14日(火)10時40分～12時15分 会場: 姫島村立姫島小学校 家庭科室 料理: 魚味噌(ひでみそ) 事業② 対象者: 小学5年生13名 講師: 婦人会 日時: 6月27日(月)10時40分～12時15分 会場: 姫島村立姫島小学校 家庭科室 料理: 鯛めん 事業③ 対象者: 小学4年生9名 講師: 姫島村食生活改善推進協議会、診療所管理栄養士 日時: 6月23日(金)10時40分～12時15分 会場: 姫島村立姫島小学校 家庭科室 料理: キスのムニエル



「食育月間」の取組実績

提出都道府県名 政令指定都市名	大分県
取組市町村名・学校名	臼杵市・下ノ江小学校
取組の名称	田んぼ活動後にいただく臼杵の伝統的饅頭「ばっぼ」について
取組内容	毎年田んぼ活動(田植えや稲刈り)後、地域の方や保護者がつくってくださったばっぼ(蒸し饅頭)をいただいています。食育月間に合わせ、6月4日(土)の田んぼ活動終了後、ばっぼの歴史やつくってくださる方の思いを知り、感謝の気持ちをはぐくむ取組として行いました。 1600年、臼杵市には三浦按針(ウィリアム=アダムズ)をのせたポルトガル船のリーフデ号が漂着した歴史があります。ばっぼは、ポルトガル語の「Vopor=蒸す」が語源ではないかという説もあります。 ばっぼの作り方は、「山帰来」(サルトリイバラ)の葉で饅頭を包みます。餅米を柏餅のように山帰来の葉で包み蒸したのを「田植えばっぼ」と呼び、田植えのおやつとして食べ疲れを癒していました。 柏  山帰来  たうえばっぼ  子どもたちへ 食べ物は、その土地の歴史と関係が深く、ばっぼづくりは自然の材料がうまく使われています。手作りおやつはからだにやさしく、田植えの時にはみんなで食べる甘い餡子の入ったばっぼが疲れをとってくれます。おうちの方がつくってくださったばっぼを感謝していただきましょう。 このあと、芋餡やこし餡・粒餡の入ったばっぼをおいしくいただきました。 参加者:児童 保護者 教職員 約100名 